Panasonic

2017年度 第3四半期
決算概要

2018年2月5日

パナソニック株式会社

- 本日はご多用のところ、お集まりいただき、
  誠にありがとうございます。
- 2017年度第3四半期決算概要につき、ご説明申し上げます。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

2017年度　第3四半期決算のポイント

第3四半期実績

- 上期に引き続き、増収増益を達成
- 売上高は、オートモーティブやインダストリアルが牽引し、増収となり、営業利益は、インダストリアル等が堅調に推移し、増益

年間見通し

- 売上高、営業利益、税引前利益を上方修正
- 税引前利益の増加や法人税等の良化により、純利益を500億円上方修正
- 年間配当予想は、前年から5円引き上げ30円

1 | 2017年度 第3四半期 決算概要　Panasonic

- 最初に、今回の決算発表のポイントです。
- 第3四半期も、上期に引き続き増収増益を達成しました。
- 売上高は、
  オートモーティブや、
  車載・産業分野へ転地を進めている
  インダストリアルが牽引し、増収となり、
- 営業利益は、
  インダストリアルが堅調に推移したことにより、増益。
- 年間見通しについては、
  売上高の上方修正に加え、インダストリアルの増益等により、
  営業利益と税引前利益を上方修正。
- 純利益については、
  税引前利益の増加や、法人税等の良化により、
  500億円上方修正いたします。
- この上方修正に伴い、
  年間の配当予想につきましては、
  前年から5円引き上げ、30円とさせて頂きます。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

- 続きまして、
  第3四半期の決算概要をご説明いたします。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

2017年度3Q 連結業績

（億円）

	2017年度 3Q	2016年度 3Q	前年比	/ 差
売上高	20,543	18,826	109% (106%) ＊1	＋1,717
営業利益	1,201	976	123%	+225
うち、その他損益 ＊2	▲46	▲100	-	＋54
営業外損益	▲14	▲2	-	▲12
税引前利益	1,187	974	122%	＋213
親会社の所有者に帰属する当期純利益	812	640	127%	＋172

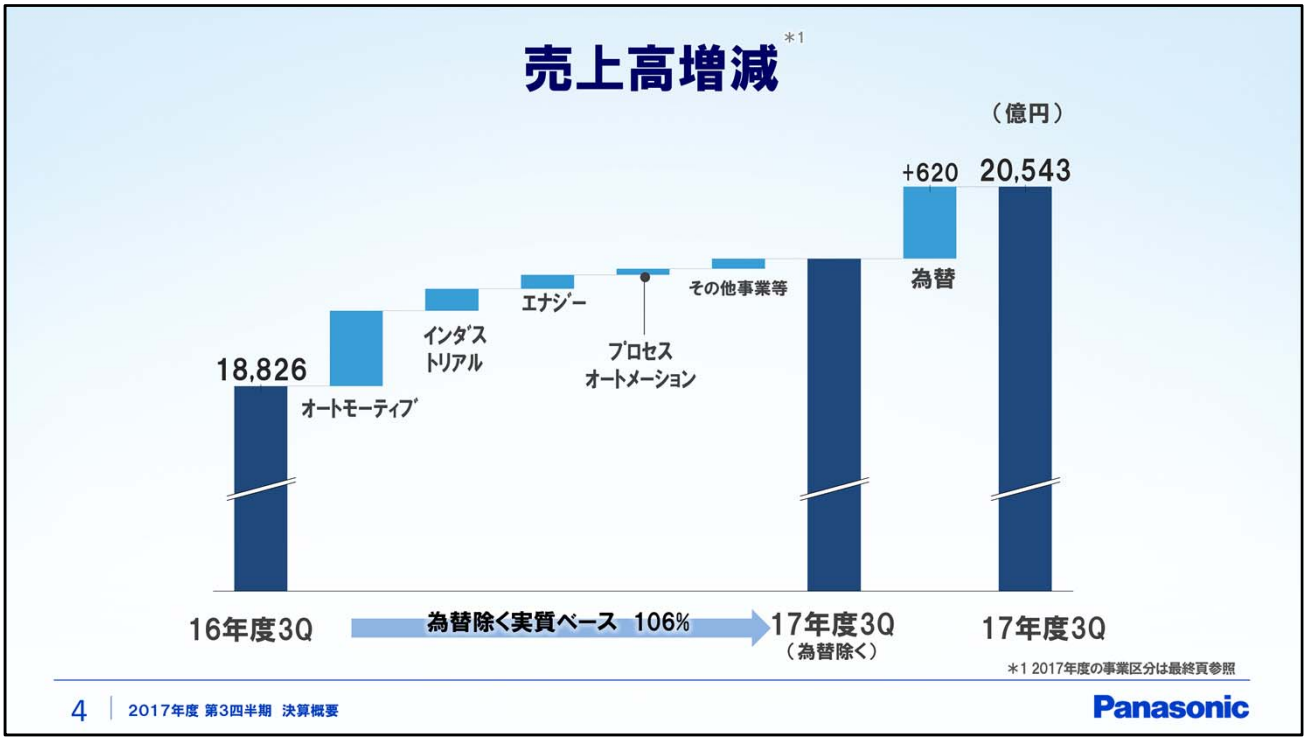
為替レート			
1USドル	113円	109円	
1ユーロ	133円	118円	
1人民元	17.1円	16.0円	

＊1 為替の影響を除いた実質ベース（非監査）
＊2 決算短信記載の「その他の損益」に「持分法による投資損益」を加えたもの

3 | 2017年度 第3四半期 決算概要 Panasonic

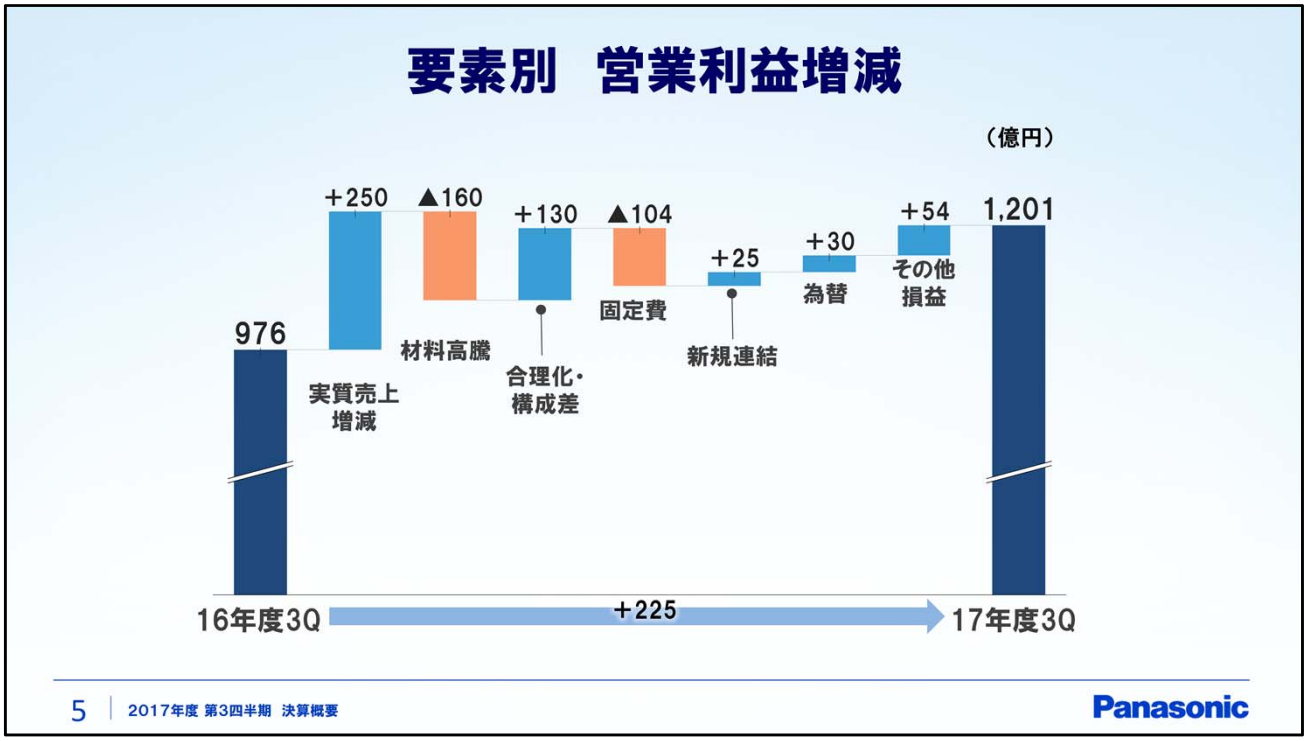
- 第3四半期の連結業績は、ご覧のとおりです。
- 売上高は、前年同期比109%、増収となりました。
  為替や新規連結を除く実質ベースでも、
  「5四半期」連続で増収となり、実質増収の基調が続いております。
- 営業利益は、225億円増益の1，201億円、
  税引前利益は、213億円増益の1，187億円、
  純利益は、172億円増益の812億円となりました。
- なお、第3四半期累計の実績については、
  プレゼンテーションの参考情報に記載しておりますので、
  ご参照下さい。
- それでは、第3四半期実績について、説明してまいります。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



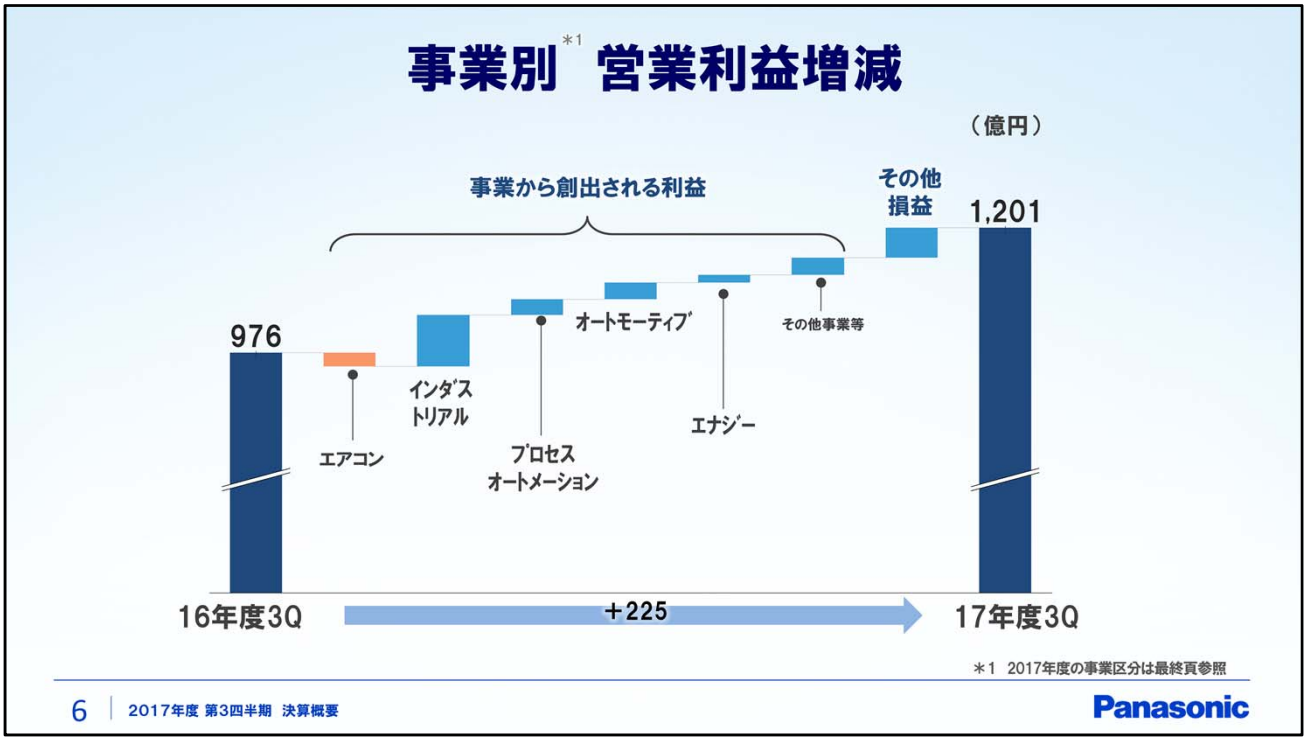
- こちらは、
  売上の増減要因を「売上開示事業単位」ごとに示しております。
- 第3四半期も、
  インフォテインメントや、フィコサの新規連結により、
  オートモーティブが大きく増収となりました。
- また、車載・産業向けデバイスが堅調なインダストリアル、
  車載電池が成長したエナジー、
  実装機の販売が伸びたプロセスオートメーションなどが、
  増収に貢献しております。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



- 次に、営業利益の増減要因を要素別に説明いたします。
- まず、売上の着実な成長により、250億円の増益となりました。
- 上期に引き続き、
  銅などの原材料高騰のマイナス影響を受けましたが、
  この影響を最小化すべく、合理化等の取組みを推進しました。
- さらに、固定費については、見直しや管理を強化することで、
  104億円の増加に留めましたが、
  車載等成長事業に対する投資は実行いたしました。
- その他損益は、
  主に法務関連費用引当金の見直し等により良化し、
- 営業利益全体では225億円の増益となりました。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



- こちらは、「売上開示事業単位」で、
  増減要因を示したものです。
- 事業から創出される利益については、
- エアコンは、原材料高騰の影響を受け減益、
- インダストリアルは、
  高成長事業であるメカトロニクスの利益成長に加え、
  デバイスソリューションなどの収益改善が進み、
  大きく増益となりました。
- これらに加え、
  プロセスオートメーション、オートモーティブ、エナジーにおいても、
  それぞれの事業が堅調に推移し、増益となりました。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

2017年度3Q 営業利益・当期純利益

（億円）

	2017年度 3Q	2016年度 3Q	前年差
営業利益	1,201	976	＋225
営業外損益	▲14	▲2	▲12
税引前利益	1,187	974	＋213
法人所得税費用	▲328	▲282	▲46
当期純利益	859	692	＋167
親会社の所有者に帰属する当期純利益	812	640	＋172
非支配持分に帰属する当期純利益	47	52	▲5

Panasonic

- こちらは、営業利益から純利益までの損益の詳細です。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

2017年度3Q　セグメント別実績

（億円）

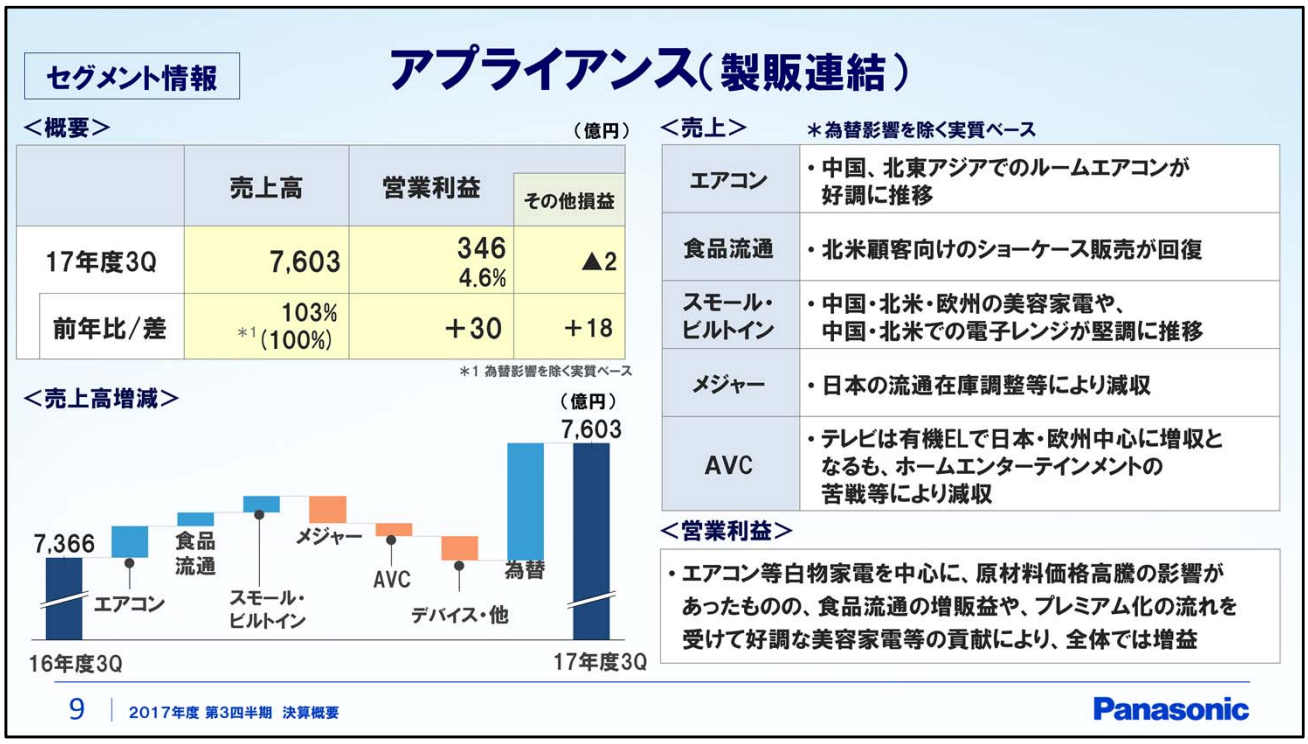
	2017年度 3Q				参考：営業利益内数	
	売上高	前年差	営業利益	前年差	その他損益	前年差
アプライアンス	6,890	＋198	306	＋7	▲10	＋9
エコソリューションズ	4,167	＋195	281	＋24	▲2	＋29
コネクティッドソリューションズ	2,811	＋232	387	＋189	＋85	＋95
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ	7,316	＋1,149	237	＋64	▲84	▲52
その他 ＊1	1,316	▲94	▲22	＋8	▲3	＋34
小計	22,500	＋1,680	1,189	＋292	▲14	＋115
消去・調整	▲1,957	＋37	12	▲67	▲32	▲61
連結決算合計	20,543	＋1,717	1,201	＋225	▲46	＋54
アプライアンス（製販連結）	7,603	＋237	346	＋30	▲2	＋18

＊1　パナホームはその他に含む

8 | 2017年度 第3四半期 決算概要　Panasonic

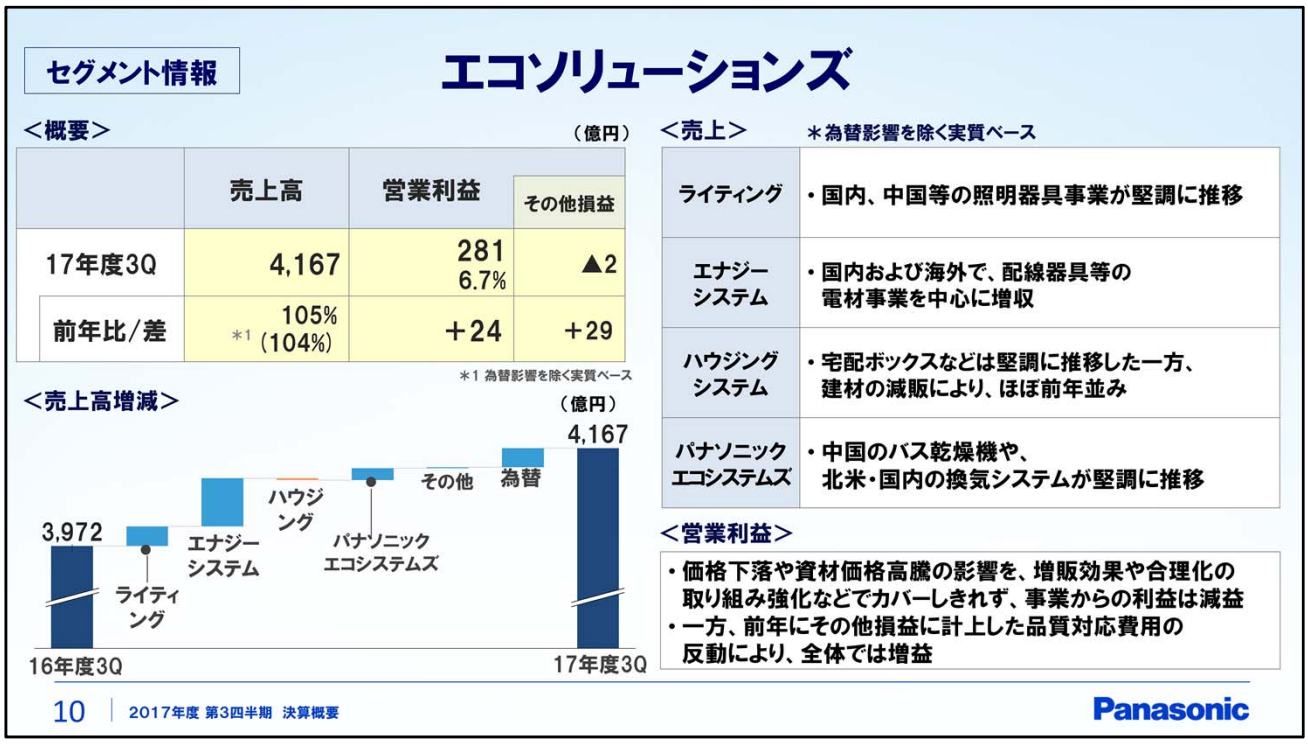
- セグメント別の実績はご覧のとおりで、全カンパニーで増収増益となりました。
- 詳細は、次のページ以降で説明いたします。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



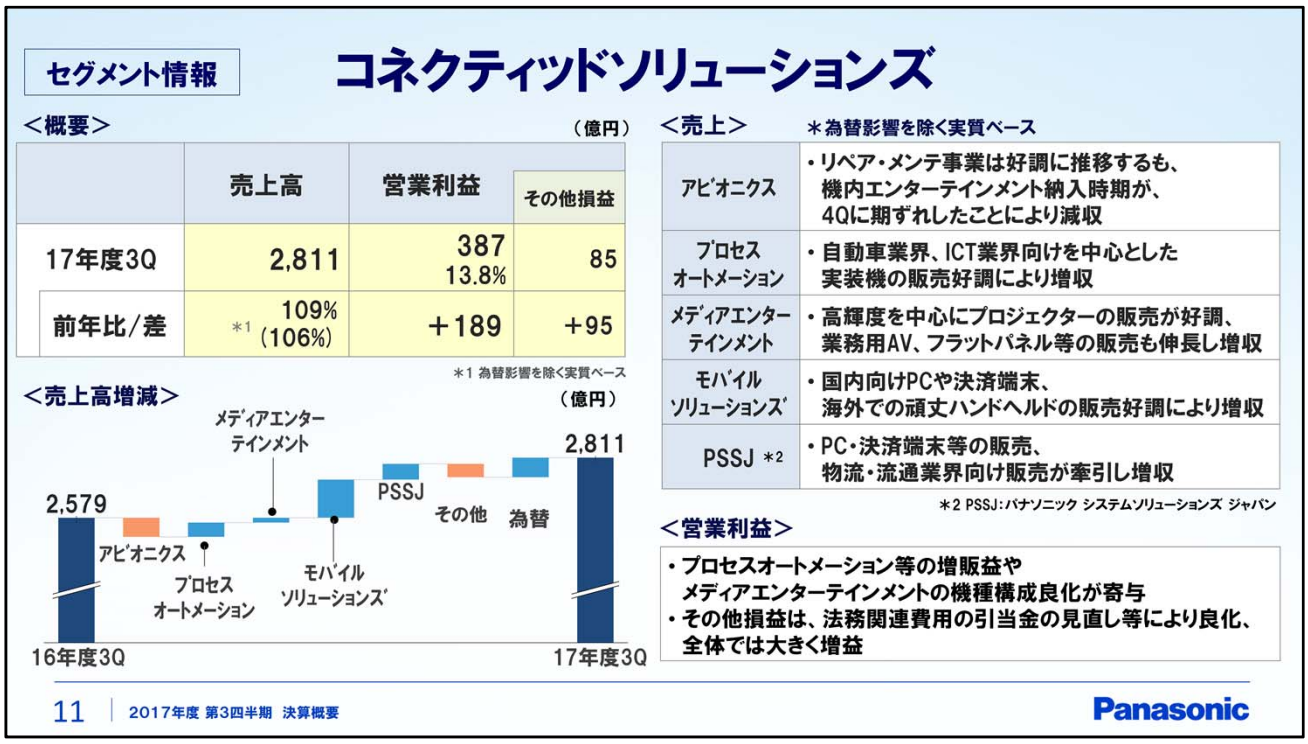
- 最初に、アプライアンス、製販連結ベースの実績です。
- 売上は、為替を除く実質ベースで、
  前年並みとなりました。
- エアコンや、食品流通、スモール・ビルトインが
  堅調に推移したものの、
- メジャーは、
  日本の流通在庫調整の影響等により減収、
- AVCは、日本でのホームエンターテインメントの苦戦等により、
  減収となりました。
- 営業利益は、エアコンなど白物家電を中心に、
  原材料価格高騰の影響を受けておりますが、
  食品流通の増販益や、好調な美容家電などの貢献により、
  全体では増益となりました。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



- 次に、エコソリューションズです。
- 売上高は、為替を除く実質ベースで、
  前年比１０４％となりました。
- 特にエナジーシステムでは、国内外の電設資材が好調に推移し、
  売上が大きく成長しました。
- 事業から創出される利益は、
  価格下落や、資材価格高騰の影響により、
  減益となりましたが、
  前年に品質対応費用を計上した反動により、
  営業利益全体では増益となりました。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



セグメント情報

コネクティッドソリューションズ

＜概要＞ （億円）

	売上高	営業利益	その他損益
17年度3Q	2,811	387 13.8%	85
前年比/差	＊1 109% (106%)	＋189	＋95

＊1 為替影響を除く実質ベース

＜売上高増減＞ （億円）

＜売上＞ ＊為替影響を除く実質ベース

アビオニクス	・リペア・メンテ事業は好調に推移するも、機内エンターテインメント納入時期が、4Qに期ずれしたことにより減収
プロセス オートメーション	・自動車業界、ICT業界向けを中心とした実装機の販売好調により増収
メディアエンター テインメント	・高輝度を中心にプロジェクターの販売が好調、業務用AV、フラットパネル等の販売も伸長し増収
モバイル ソリューションズ	・国内向けPCや決済端末、海外での頑丈ハンドヘルドの販売好調により増収
PSSJ ＊2	・PC・決済端末等の販売、物流・流通業界向け販売が牽引し増収

＊2 PSSJ：パナソニック システムソリューションズ ジャパン

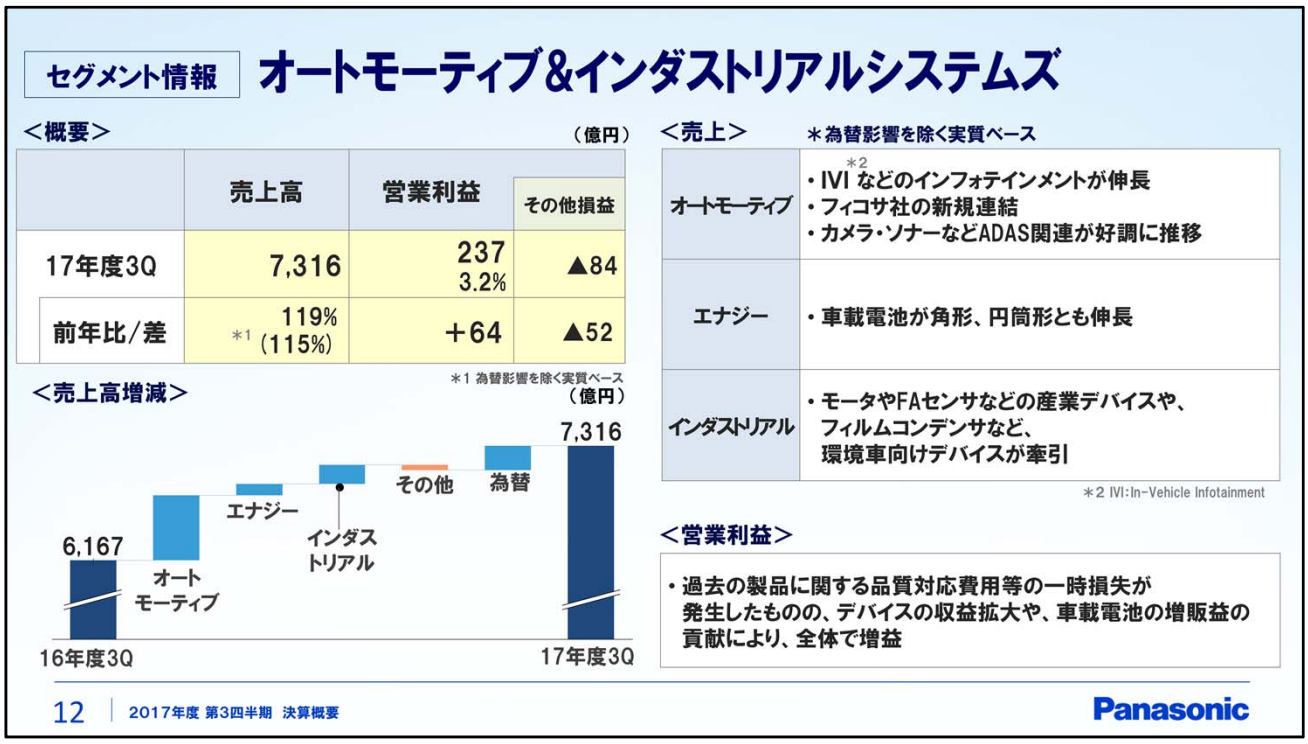
＜営業利益＞

・プロセスオートメーション等の増販益や
メディアエンターテインメントの機種構成良化が寄与
・その他損益は、法務関連費用の引当金の見直し等により良化、
全体では大きく増益

11 | 2017年度 第3四半期 決算概要 Panasonic

- 続いて、コネクティッドソリューションズです。
- 売上高は、為替を除く実質ベースで、
前年比106%となりました。
- アビオニクスは、
機内エンターテインメントの納入時期の期ずれにより、
減収となったものの、
- プロセスオートメーションは、
自動車業界やICT業界向けの実装機の販売が堅調に推移し、増収、
- モバイルソリューションズは、
日本でのノートパソコンや決済端末などが貢献し、増収となりました。
- 営業利益は、
プロセスオートメーションの増販益や
メディアエンターテインメントの機種構成良化、
法務関連費用引当金の見直しなどにより、
大幅な増益となりました。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



- 最後は、オートモーティブ＆インダストリアルシステムズです。
- 売上高は、為替を除く実質ベースで
  前年比１１５%となりました。
- オートモーティブは、
  インフォテインメントの成長やフィコサ新規連結に加え、
  カメラ・ソナーなどのADAS関連が好調に推移し、
  増収となりました。
- エナジーは、車載電池が円筒形および角形ともに増収、
- インダストリアルは、産業向けのモータやFAセンサ、
  環境車向けのフィルムコンデンサなどが牽引し、
  増収となりました。
- 営業利益は、
  品質対応費用などの一時損失が発生したものの、
  デバイスの収益拡大や車載電池の増販益などにより、
  事業からの利益は大きく改善しました。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

- 続いて、2017年度年間業績見通しについてご説明します。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

2017年度 年間業績見通しの修正

（2018年2月5日時点）

（億円）

	2017年度見通し	期初公表	修正額	前年実績	前年差
売上高	79,500	78,000	＋1,500	73,437	＋6,063
営業利益	3,500	3,350	＋150	2,768	＋732
うち、その他損益 ＊1	▲450	▲500	＋50	▲668	＋218
営業外損益	▲50	▲100	＋50	▲17	▲33
税引前利益	3,450	3,250	＋200	2,751	＋699
法人税等 ＊2	▲1,350	▲1,650	＋300	▲1,257	▲93
親会社の所有者に帰属する当期純利益	2,100	1,600	＋500	1,494	＋606

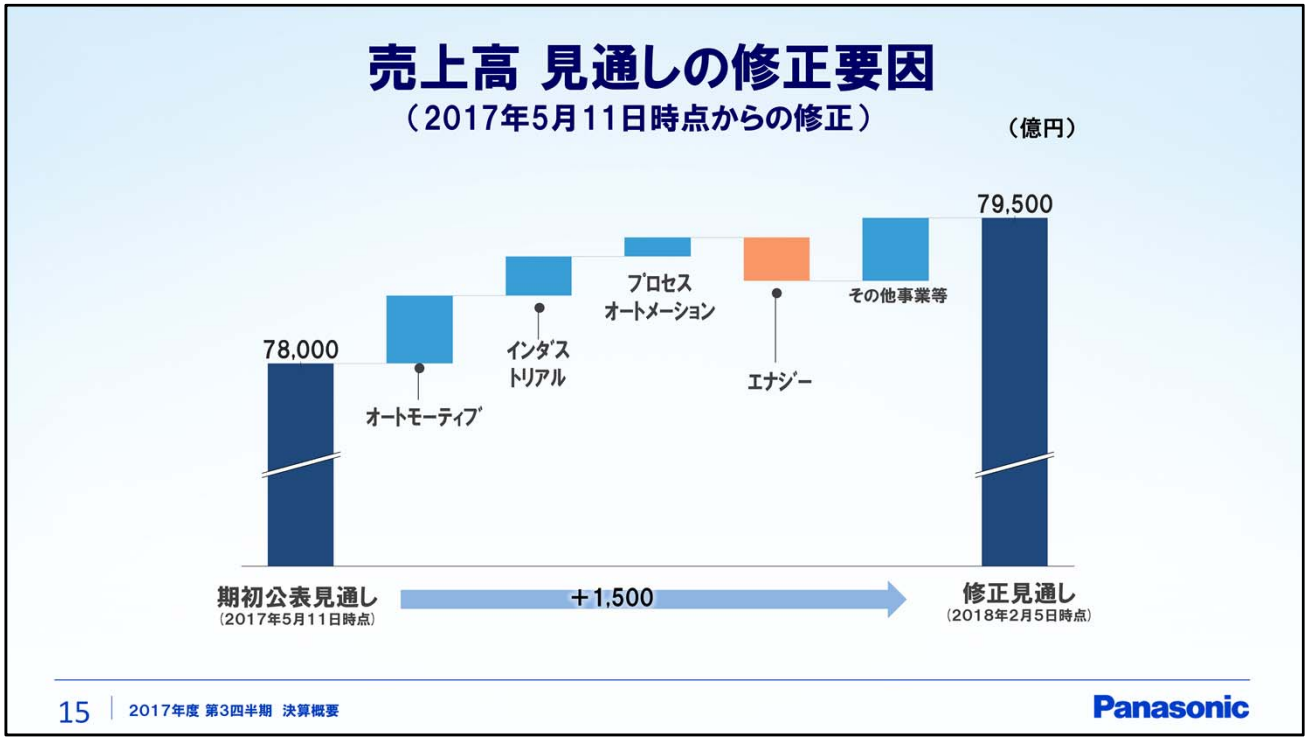
為替レート	1USドル	111円	110円	＋1円	108円	＋3円
	1ユーロ	129円	120円	＋9円	119円	＋10円
	1人民元	16.7円	15.9円	＋0.8円	16.1円	＋0.6円

＊1 決算短信記載の「その他の損益」に「持分法による投資損益」を加えたもの　＊2 「法人所得税費用」および「非支配持分に帰属する当期純利益」

14 | 2017年度 第3四半期 決算概要　Panasonic

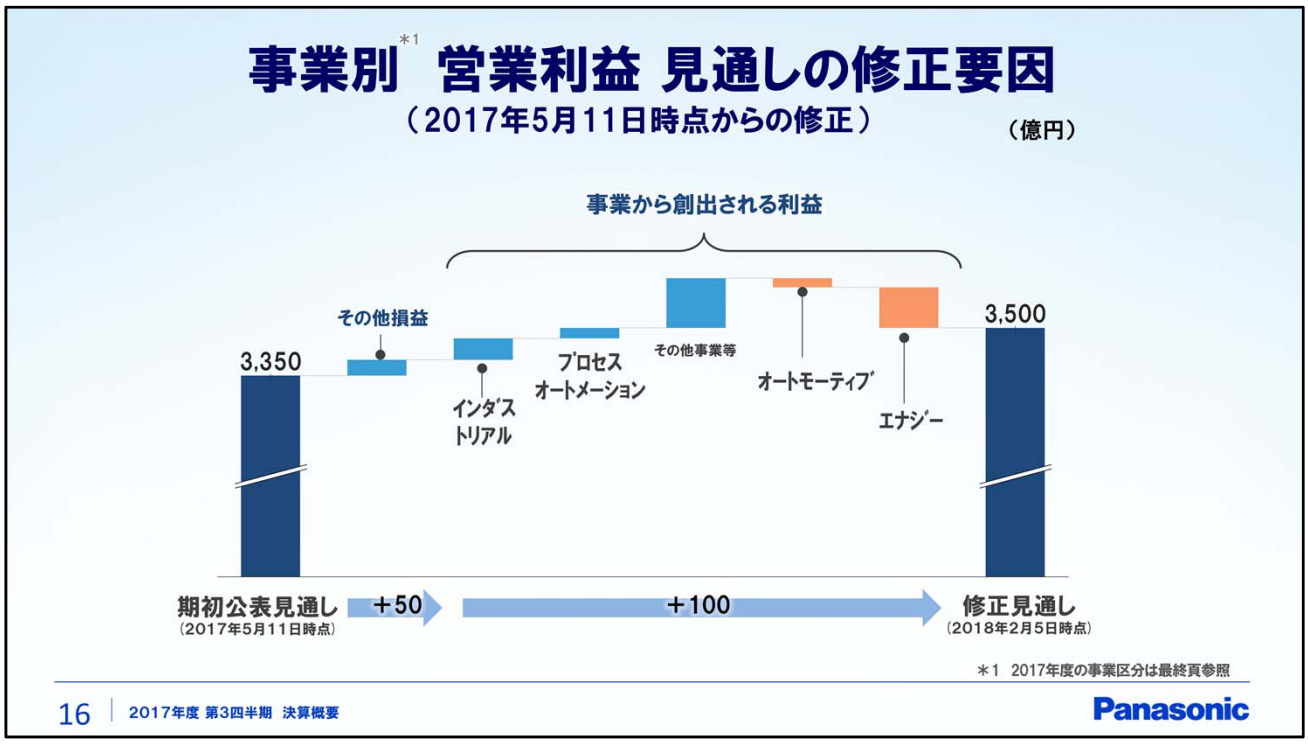
- 売上高は、オートモーティブなどが牽引し、
  期初公表値から1，500億円上方修正の
  7兆9，500億円、
- 営業利益は、インダストリアルなどの貢献により、
  150億円上方修正し、3，500億円といたします。
- 当期純利益は、
  税引前利益の増加に加え、
  法人税の良化や、
  非支配持分利益の控除額が減少したこと等により、
  500億円上方修正し、2，100億円といたします。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



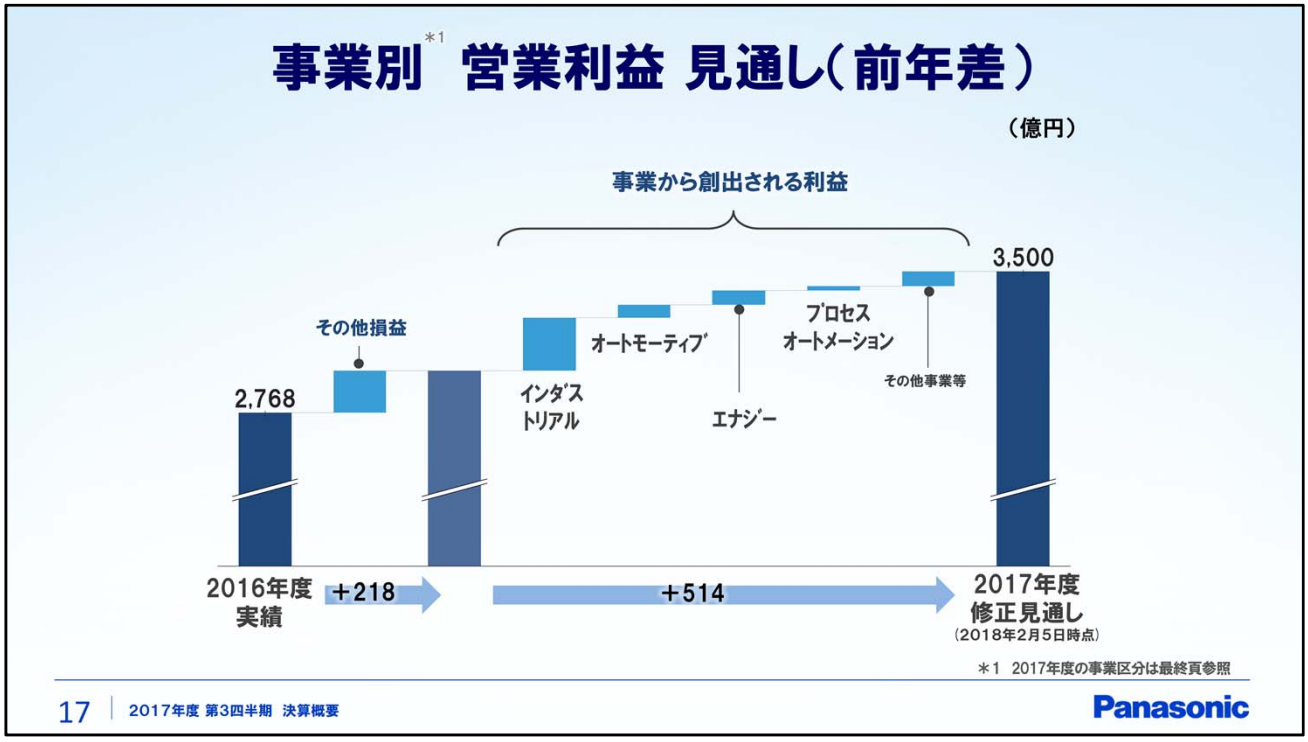
- 売上高の修正要因は、ご覧のとおりです。
- オートモーティブは、
  インフォテインメントにおいて、
  日米での販売が伸張したことに加え、
  フィコサも堅調に推移しております。
- インダストリアルは、
  車載・産業向けに転地を進めてきており、
  今期はメカトロニクスを中心に、
  大きく売り上げを伸ばしました。
- プロセスオートメーションは、
  ICT業界向け実装機の販売が、
  当初の想定を上回りました。
- エナジーについては、
  北米における車載電池販売の期ずれを、
  見通しに反映いたしました。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



- 続いて、営業利益の修正要因です。
- その他損益については、
  法務関連費用引当金の見直しなどにより、
  50億円良化しました。
- 事業から創出される利益は、
  インダストリアルなどの増販益が牽引し、
  100億円上方修正いたします。
- オートモーティブやエナジーの利益が、
  短期的には大きく下振れしましたが、
  インダストリアル等の利益成長により、
  その影響を吸収することができました。
- このように、収益を着実に伸ばしている事業が、
  中長期の車載事業戦略を、
  支える構図となっております。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.



- こちらでは、
  前年からの営業利益の改善状況を示しております。
- その他損益については、
  その改善に注力していることもあり、
  前年から、218億円改善する見通しです。
- また、事業から創出される利益については、
  転地を進めているインダストリアルや、
  高成長事業として取り組みを進めている
  オートモーティブ、エナジーが、着実に成長しており、
  前年から、514億円増益となる見通しです。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

セグメント別の見通しの修正

（2017年5月11日時点からの修正額）

（億円）

	2017年度見通し				参考：営業利益内数	
	売上高	修正額	営業利益	修正額	その他損益	修正額
アプライアンス	25,700	+200	1,060	▲50	▲20	+20
エコソリューションズ	16,260	-	720	-	▲120	-
コネクティッドソリューションズ	11,115	+85	950	+260	30	+110
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ	27,400	+800	860	▲70	▲130	▲10
その他 ＊1	6,800	-	120	+50	10	+50
小計	87,275	+1,085	3,710	+190	▲230	+170
消去・調整	▲7,775	+415	▲210	▲40	▲220	▲120
連結決算	79,500	+1,500	3,500	+150	▲450	+50
アプライアンス（製販連結）	27,800	+300	1,070	▲50	▲20	+20

＊1 パナホームはその他に含む

Panasonic

- こちらはセグメント別の見通し修正です。
- アプライアンスは、
  売上高を上方修正、
  一方、営業利益は、原材料高騰の影響等により下方修正、
- コネクティッドソリューションズは、
  好調なプロセスオートメーションの状況等を反映し、
  売上、営業利益ともに上方修正、
- オートモーティブ＆インダストアルシステムズは、
  インフォテインメントの販売伸長により、
  売上高を上方修正、
  一方、営業利益は、車載電池の販売計画を見直し、
  下方修正いたします。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

大規模6事業部・テレビ事業部の見通し修正

（2017年10月31日時点からの修正額）

（億円）

	2017年度見通し				参考：営業利益内数	
	売上高	修正額	営業利益	修正額	その他損益	修正額
エアコン＊1	4,945	－	250	▲26	18	－
ライティング	3,250	－	243	－	▲10	－
ハウジングシステム	3,720	－	169	－	▲1	－
インフォテインメントシステム	5,655	＋100	180	▲90	▲70	▲70
二次電池＊2	4,265	▲450	▲54	▲120	8	－
パナホーム	3,650	－	117	－	▲3	－
テレビ＊1	3,249	－	7	－	▲6	－

＊1 販売部門を含む製販連結　＊2 二次電池事業部＋テスラBU

Panasonic

- こちらは、大規模6事業部とテレビ事業部の見通し修正です。
- インフォテインメントは、売上は上方修正するものの、
  営業利益については、
  一時損失や、新製品の垂直立ち上げに伴う
  追加的コスト等の発生により、下方修正いたします。
- このようなオペレーション上の課題については、
  正常化に向けた取り組みを、引き続き推進してまいります。
- 二次電池は、
  北米での車載電池事業の販売計画の見直しを受け、
  売上、営業利益ともに下方修正いたします。
- 今期は、販売時期に期ずれが生じておりますが、
  引き続き北米では車載電池への旺盛な需要がございます。
  来年度以降も、お客様と密接に連携しながら、
  着実に車載電池の生産・供給をしてまいります。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

年間の配当予想について

	中間	期末（予想）	年間（予想）
2017年度	10円	20円	30円
前年実績	10円	15円	25円

Panasonic

- 最後に、今期の配当予想についてご報告申し上げます。
- 本日発表致しました純利益の上方修正に伴い、
今年度は、前年配当実績から5円引上げ、
年間配当を30円とする予定です。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

Panasonic

A Better Life, A Better World

- ご説明は以上となります。
- 引き続き、
  当社への一層のご理解とご支援をお願いいたします。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

本プレゼンテーションには、パナソニックグループの「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本プレゼンテーションにおける記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたパナソニックグループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受けるおそれがあります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示されるパナソニックグループの将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。パナソニックグループは、本プレゼンテーションの日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。また本プレゼンテーションの開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表のレビュー手続が実施中です。投資家の皆様におかれましては、金融商品取引法に基づく今後の提出書類およびその他の当社の行う開示をご参照下さい。

なお、上記のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、次のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照下さい。

- 米州、欧州、日本、中国その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- 多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の過度な変動により外貨建てで取引される製品・サービスなどのコストおよび価格が影響を受ける可能性
- 資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- 急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低コストで投入することができない可能性
- 他企業との提携または企業買収等で期待どおりの成果を上げられない、または予期しない損失を被る可能性
- パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向（BtoB（企業向け）分野における、依存度の高い特定の取引先からの企業努力を上回る価格下落圧力や製品需要の減少等の可能性を含む）
- 多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持することができなくなる可能性
- 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- 諸外国による現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制への何らかの規制等（直接・間接を問わない）
- パナソニックグループが保有する有価証券およびその他の金融資産の時価や有形固定資産、のれん、繰延税金資産などの非金融資産の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- ネットワークを介した不正アクセス等により、パナソニックグループシステムから顧客情報・機密情報が外部流出する、あるいはネットワーク接続製品に脆弱性が発見され、多大な対策費用負担が生じる可能性
- 地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他パナソニックグループの事業活動に混乱を与える可能性のある要素

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

2017年度3Q 大規模6事業部・テレビ事業部

（億円）

	2017年度 3Q				参考：営業利益内数	
	売上高	前年差	営業利益	前年差	その他損益	前年差
エアコン ＊1	999	＋97	10	▲35	▲1	▲10
ライティング	905	＋51	101	＋15	▲2	＋4
ハウジングシステム	981	▲4	52	▲13	0	▲5
インフォテインメントシステム	1,532	＋281	▲9	▲70	▲80	▲81
二次電池 ＊2	1,098	＋96	▲13	＋36	▲8	＋16
パナホーム	733	▲112	▲12	▲24	▲1	＋0
テレビ ＊1	1,040	＋80	8	▲15	▲1	＋2

＊1：販売部門を含む製販連結　＊2：二次電池事業部＋テスラBU

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

2017年度3Q（累計） 連結業績

（億円）

	2017年度 3Q累計	2016年度 3Q累計	前年比	/ 差
売上高	59,122	54,224	109% (106%)＊1	＋4,898
営業利益	3,167	2,757	115%	＋410
うち、その他損益 ＊2	▲107	41	-	▲148
営業外損益	▲32	28	-	▲60
税引前利益	3,135	2,785	113%	＋350
親会社の所有者に帰属する当期純利益	2,001	1,975	101%	＋26

為替レート	1USドル	112円	107円
	1ユーロ	129円	118円
	1人民元	16.6円	16.0円

＊1 為替の影響を除いた実質ベース（非監査）
＊2 決算短信記載の「その他の損益」に「持分法による投資損益」を加えたもの

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

2017年度3Q（累計）営業利益・当期純利益

（億円）

	2017年度 3Q累計	2016年度 3Q累計	前年差
営業利益	3,167	2,757	＋410
営業外損益	▲32	28	▲60
税引前利益	3,135	2,785	＋350
法人所得税費用	▲1,016	▲644	▲372
当期純利益	2,119	2,141	▲22
親会社の所有者に帰属する当期純利益	2,001	1,975	＋26
非支配持分に帰属する当期純利益	118	166	▲48

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

2017年度3Q（累計）セグメント別実績

（億円）

	2017年度3Q累計				参考：営業利益内数	
	売上高	前年差	営業利益	前年差	その他損益	前年差
アプライアンス	20,164	＋700	1,033	＋39	2	＋39
エコソリューションズ	11,740	＋502	494	＋22	▲60	▲42
コネクティッドソリューションズ	8,124	＋573	791	＋228	94	＋102
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ	20,746	＋2,801	622	▲109	▲132	▲427
その他 ＊1	4,191	＋34	0	＋24	44	＋85
小計	64,965	＋4,610	2,940	＋204	▲52	▲243
消去・調整	▲5,843	＋288	227	＋206	▲55	＋95
連結決算合計	59,122	＋4,898	3,167	＋410	▲107	▲148
アプライアンス（製販連結）	21,801	＋858	1,046	＋70	9	＋48

＊1 パナホームはその他に含む

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

2017年度3Q（累計）大規模6事業部・テレビ事業部

（億円）

	2017年度 3Q累計				参考：営業利益内数	
	売上高	前年差	営業利益	前年差	その他損益	前年差
エアコン ＊1	3,761	＋217	223	▲40	19	＋20
ライティング	2,356	＋88	181	＋28	▲6	▲21
ハウジングシステム	2,798	＋77	119	＋11	3	＋7
インフォテインメントシステム	4,234	＋547	80	▲99	▲79	▲78
二次電池 ＊2	3,039	＋392	▲97	▲142	▲18	▲194
パナホーム	2,283	▲185	▲20	▲47	0	＋3
テレビ ＊1	2,672	＋235	15	▲54	▲7	▲2

＊1：販売部門を含む製販連結 ＊2：二次電池事業部＋テスラBU

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）　2017年度　第3四半期　補足資料

（1）セグメント情報

（単位：億円）

	2017年度 第3四半期					2017年度 第3四半期累計				
	売上高	前年比	営業利益	利益率	前年比	売上高	前年比	営業利益	利益率	前年比
アプライアンス（AP）	6,890	103%	306	4.4%	102%	20,164	104%	1,033	5.1%	104%
エコソリューションズ（ES）	4,167	105%	281	6.7%	109%	11,740	104%	494	4.2%	105%
コネクティッドソリューションズ（CNS）	2,811	109%	387	13.8%	195%	8,124	108%	791	9.7%	140%
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ（AIS）	7,316	119%	237	3.2%	138%	20,746	116%	622	3.0%	85%
その他	1,316	93%	−22	−1.6%	−	4,191	101%	0	0.0%	−
計	22,500	108%	1,189	5.3%	133%	64,965	108%	2,940	4.5%	107%
消去・調整 ※1	−1,957	−	12	−	−	−5,843	−	227	−	−
合計	20,543	109%	1,201	5.8%	123%	59,122	109%	3,167	5.4%	115%
アプライアンス（製販連結） ※2	7,603	103%	346	4.6%	109%	21,801	104%	1,046	4.8%	107%

※1　「消去・調整」には、セグメント業績の管理上、特定のセグメントに帰属しない収益・費用や、連結会計上の調整及びセグメント間の内部取引消去が含まれております。

※2　「アプライアンス(製販連結)」は、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高および営業利益を含んでおります。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（2）事業部情報

（単位：億円）

		2017年度 第3四半期		2017年度 第3四半期累計	
		売上高	前年比	売上高	前年比
AP（製販連結）	**エアコン事業**	**999**	**111%**	**3,761**	**106%**
	食品流通事業	695	107%	2,051	101%
	スモール・ビルトイン事業	1,185	106%	3,175	105%
	メジャー事業	1,350	98%	3,966	103%
	AVC事業	2,128	104%	5,538	108%
ES	**ライティング事業部**	**905**	106%	**2,356**	104%
	エナジーシステム事業部	931	113%	2,589	109%
	ハウジングシステム事業部	981	100%	2,798	103%
	パナソニック エコシステムズ㈱	419	109%	1,150	103%
CNS	**アビオニクス事業**	701	93%	2,030	94%
	プロセスオートメーション事業部	432	119%	1,414	128%
	メディアエンターテインメント事業部	344	111%	1,001	112%
	モバイルソリューションズ事業部	620	135%	1,719	128%
	PSSJ	702	110%	1,910	107%
AIS	**オートモーティブ事業**	**2,411**	**144%**	**6,682**	**137%**
	エナジー事業	1,520	110%	4,131	113%
	インダストリアル事業	2,425	113%	7,098	109%

（3）セグメント別設備投資

（単位：億円）

	2017年度 第3四半期		2017年度 第3四半期累計	
		前年差		前年差
アプライアンス	144	+4	358	+31
エコソリューションズ	95	+23	272	+45
コネクティッドソリューションズ	47	−4	127	−23
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ	549	+62	1,622	+585
その他	54	−50	364	+112
合計	889	+35	2,743	+750

（注）発生ベース

（4）為替レート

	連結換算レート				
	2016年度 第3四半期	2016年度 第3四半期累計	2016年度 年間	2017年度 第3四半期	2017年度 第3四半期累計
米ドル	¥109	¥107	¥108	¥113	¥112
ユーロ	¥118	¥118	¥119	¥133	¥129
人民元	¥16.0	¥16.0	¥16.1	¥17.1	¥16.6

（注）期中平均レート

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）　2017年度　第2四半期　補足資料

（1）セグメント情報

（単位：億円）

	2017年度 第2四半期					2017年度 第2四半期累計				
	売上高	前年比	営業利益	利益率	前年比	売上高	前年比	営業利益	利益率	前年比
アプライアンス（AP）	6,441	106%	277	4.3%	106%	13,274	104%	727	5.5%	105%
エコソリューションズ（ES）	3,961	105%	159	4.0%	98%	7,573	104%	213	2.8%	99%
コネクティッドソリューションズ（CNS）	2,825	114%	243	8.6%	127%	5,313	107%	404	7.6%	111%
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ（AIS）	6,866	115%	208	3.0%	50%	13,430	114%	385	2.9%	69%
その他	1,601	107%	36	2.2%	86%	2,875	105%	22	0.8%	338%
計	21,694	110%	923	4.2%	86%	42,465	107%	1,751	4.1%	95%
消去・調整 ※1	−1,768	−	204	−	−	−3,886	−	215	−	−
合計	19,926	113%	1,127	5.7%	106%	38,579	109%	1,966	5.1%	110%
アプライアンス（製販連結） ※2	6,913	108%	273	3.9%	111%	14,198	105%	699	4.9%	106%

※1　「消去・調整」には、セグメント業績の管理上、特定のセグメントに帰属しない収益・費用や、連結会計上の調整及びセグメント間の内部取引消去が含まれております。
※2　「アプライアンス(製販連結)」は、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高および営業利益を含んでおります。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（2）事業部情報

（単位：億円）

		2017年度 第2四半期		2017年度 第2四半期累計	
		売上高	前年比	売上高	前年比
AP（製販連結）	エアコン事業	1,159	106%	2,761	105%
	食品流通事業	687	105%	1,355	99%
	スモール・ビルトイン事業	984	106%	1,990	104%
	メジャー事業	1,368	106%	2,617	105%
	AVC事業	1,706	116%	3,410	111%
ES	ライティング事業部	769	103%	1,451	103%
	エナジーシステム事業部	867	109%	1,658	107%
	ハウジングシステム事業部	928	102%	1,817	105%
	パナソニック エコシステムズ㈱	362	102%	731	99%
CNS	アビオニクス事業	710	107%	1,329	94%
	プロセスオートメーション事業部	529	138%	982	132%
	メディアエンターテインメント事業部	345	117%	657	112%
	モバイルソリューションズ事業部	569	137%	1,099	124%
	PSSJ	659	103%	1,208	105%
AIS	オートモーティブ事業	2,203	138%	4,271	133%
	エナジー事業	1,338	113%	2,611	115%
	インダストリアル事業	2,402	110%	4,673	107%

（3）セグメント別設備投資

（単位：億円）

	2017年度 第2四半期		2017年度 第2四半期累計	
		前年差		前年差
アプライアンス	118	+8	214	+27
エコソリューションズ	110	+21	177	+22
コネクティッドソリューションズ	48	−14	80	−19
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ	591	+261	1,074	+523
その他	71	−29	309	+162
合計	938	+247	1,854	+715

（注）発生ベース

（4）為替レート

	連結換算レート				
	2016年度 第2四半期	2016年度 第2四半期累計	2016年度 年間	2017年度 第2四半期	2017年度 第2四半期累計
米ドル	¥102	¥105	¥108	¥111	¥111
ユーロ	¥114	¥118	¥119	¥130	¥126
人民元	¥15.4	¥16.0	¥16.1	¥16.6	¥16.4

（注）期中平均レート

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）　2017年度　第1四半期　補足資料

（1）セグメント情報

（単位：億円）

	2017年度 第1四半期				
	売上高	前年比	営業利益	利益率	前年比
アプライアンス（AP）	6,833	102%	450	6.6%	104%
エコソリューションズ（ES）	3,612	103%	54	1.5%	102%
コネクティッドソリューションズ（CNS）	2,488	100%	161	6.5%	93%
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ（AIS）	6,564	113%	177	2.7%	122%
その他	1,274	102%	−14	−1.1%	−
計	20,771	105%	828	4.0%	108%
消去・調整 ※1	−2,118	−	11	−	−
合計	18,653	105%	839	4.5%	117%
アプライアンス（製販連結） ※2	7,285	102%	426	5.9%	103%

※1　「消去・調整」には、セグメント業績の管理上、特定のセグメントに帰属しない収益・費用や、連結会計上の調整及びセグメント間の内部取引消去が含まれております。
※2　「アプライアンス(製販連結)」は、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高および営業利益を含んでおります。

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（2）事業部情報

（単位：億円）

		2017年度 第1四半期	
		売上高	前年比
AP（製販連結）	エアコン事業	1,603	103%
	食品流通事業	668	92%
	スモール・ビルトイン事業	1,006	102%
	メジャー事業	1,248	104%
	AVC事業	1,704	106%
ES	ライティング事業部	682	102%
	エナジーシステム事業部	791	105%
	ハウジングシステム事業部	889	108%
	パナソニックエコシステムズ㈱	368	97%
CNS	アビオニクス事業	619	83%
	プロセスオートメーション事業部	453	126%
	メディアエンターテインメント事業部	312	106%
	モバイルソリューションズ事業部	530	112%
	PSSJ	548	107%
AIS	オートモーティブ事業	2,068	128%
	エナジー事業	1,273	118%
	インダストリアル事業	2,271	104%

（3）セグメント別設備投資

（単位：億円）

	2017年度 第1四半期	
		前年差
アプライアンス	96	+19
エコソリューションズ	67	+1
コネクティッドソリューションズ	32	−5
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ	483	+262
その他	238	+191
合計	916	+468

（注）発生ベースでの設備投資額

（4）為替レート

	連結換算レート	
	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期
米ドル	¥108	¥111
ユーロ	¥122	¥122
人民元	¥16.5	¥16.2

（注）期中平均レート

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

事業部一覧

アプライアンス

エアコンカンパニー
テレビ事業部
イメージングネットワーク事業部
ホームエンターテインメント事業部
コミュニケーションプロダクツ事業部
冷蔵庫事業部
ランドリー・クリーナー事業部
キッチンアプライアンス事業部
ビューティ・リビング事業部
冷熱空調デバイス事業部
スマートエネルギーシステム事業部
コールドチェーン事業部
Hussmann Corporation

コネクティッドソリューションズ

Panasonic Avionics Corporation
プロセスオートメーション事業部
メディアエンターテインメント事業部
モバイルソリューションズ事業部
セキュリティシステム事業部
パナソニック システムソリューションズ ジャパン㈱

オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ

インフォテインメントシステム事業部
車載エレクトロニクス事業部
Ficosa International, S.A.
二次電池事業部
エナジーデバイス事業部
メカトロニクス事業部
パナソニック セミコンダクターソリューションズ㈱
デバイスソリューション事業部
電子材料事業部
パナソニック液晶ディスプレイ㈱

エコソリューションズ

ライティング事業部
エナジーシステム事業部
ハウジングシステム事業部
パナソニック エコシステムズ㈱
パナソニック サイクルテック㈱

その他

パナホーム㈱

2018年2月5日時点

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

2017年度 売上開示事業の構成

アプライアンス（AP）	・エアコン事業	：エアコンカンパニー
	・食品流通事業	：コールドチェーン事業部、Hussmann Corporation
	・スモール・ビルトイン事業	：キッチンアプライアンス事業部、ビューティ・リビング事業部
	・メジャー事業	：冷蔵庫事業部、ランドリー・クリーナー事業部
	・AVC事業	：テレビ事業部、イメージングネットワーク事業部、ホームエンターテインメント事業部、コミュニケーションプロダクツ事業部
エコソリューションズ（ES）	・ライティング事業部	
	・エナジーシステム事業部	
	・ハウジングシステム事業部	
	・パナソニック エコシステムズ㈱	
コネクティッドソリューションズ（CNS）	・アビオニクス事業	：Panasonic Avionics Corporation, アビオニクスビジネスユニット
	・プロセスオートメーション事業部	
	・メディアエンターテインメント事業部	
	・モバイルソリューションズ事業部	
	・PSSJ	：パナソニック システムソリューションズ ジャパン㈱
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ（AIS）	・オートモーティブ事業	：インフォテインメントシステム事業部、車載エレクトロニクス事業部 Ficosa International, S.A.
	・エナジー事業	：二次電池事業部、エナジーデバイス事業部
	・インダストリアル事業	：メカトロニクス事業部、パナソニック セミコンダクターソリューションズ㈱、デバイスソリューション事業部、電子材料事業部、パナソニック液晶ディスプレイ㈱

2018年2月5日時点

Panasonic

Copyright (C) 2018 Panasonic Corporation All Rights Reserved.